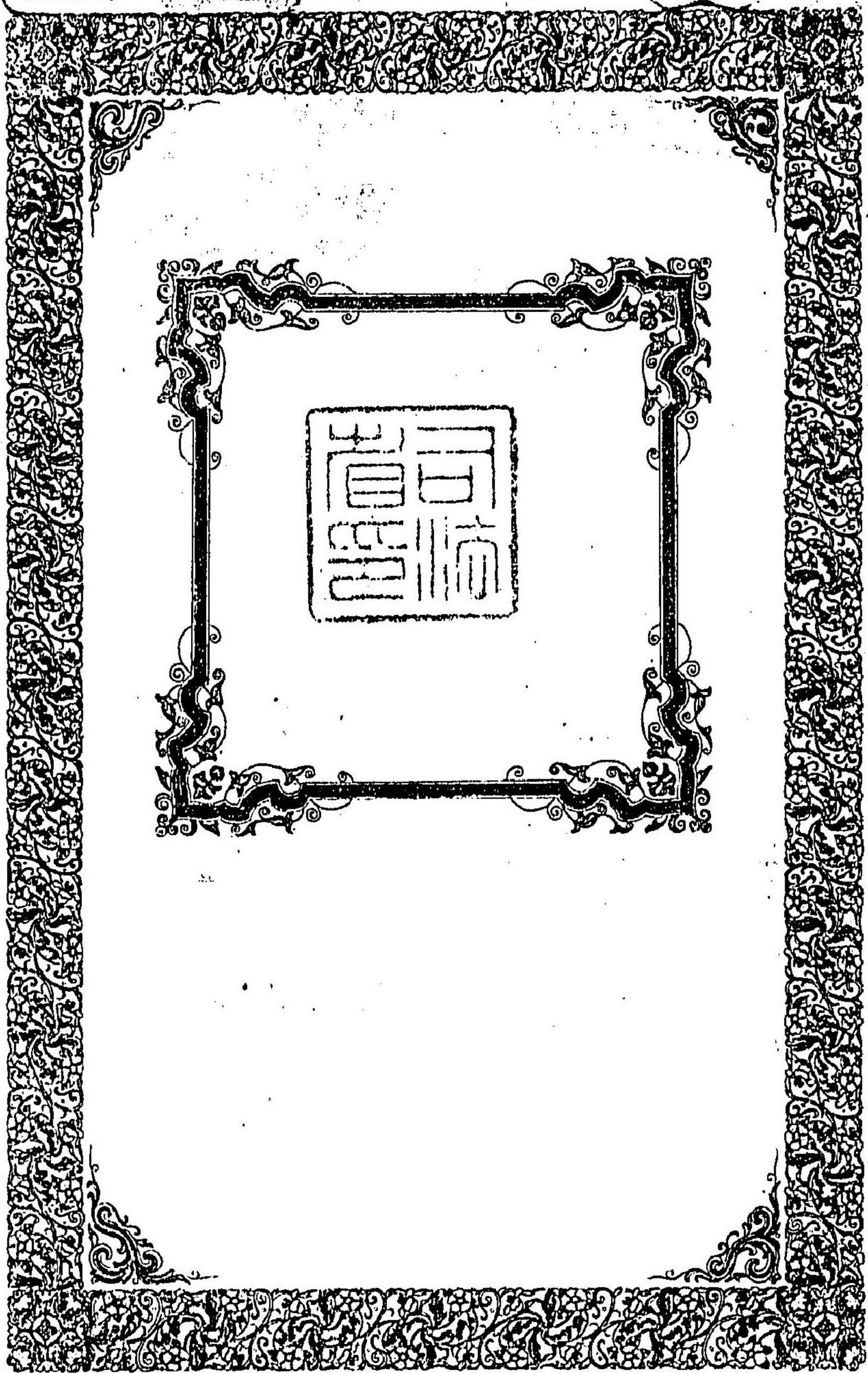


佛國大學校法律博士久野義典講義

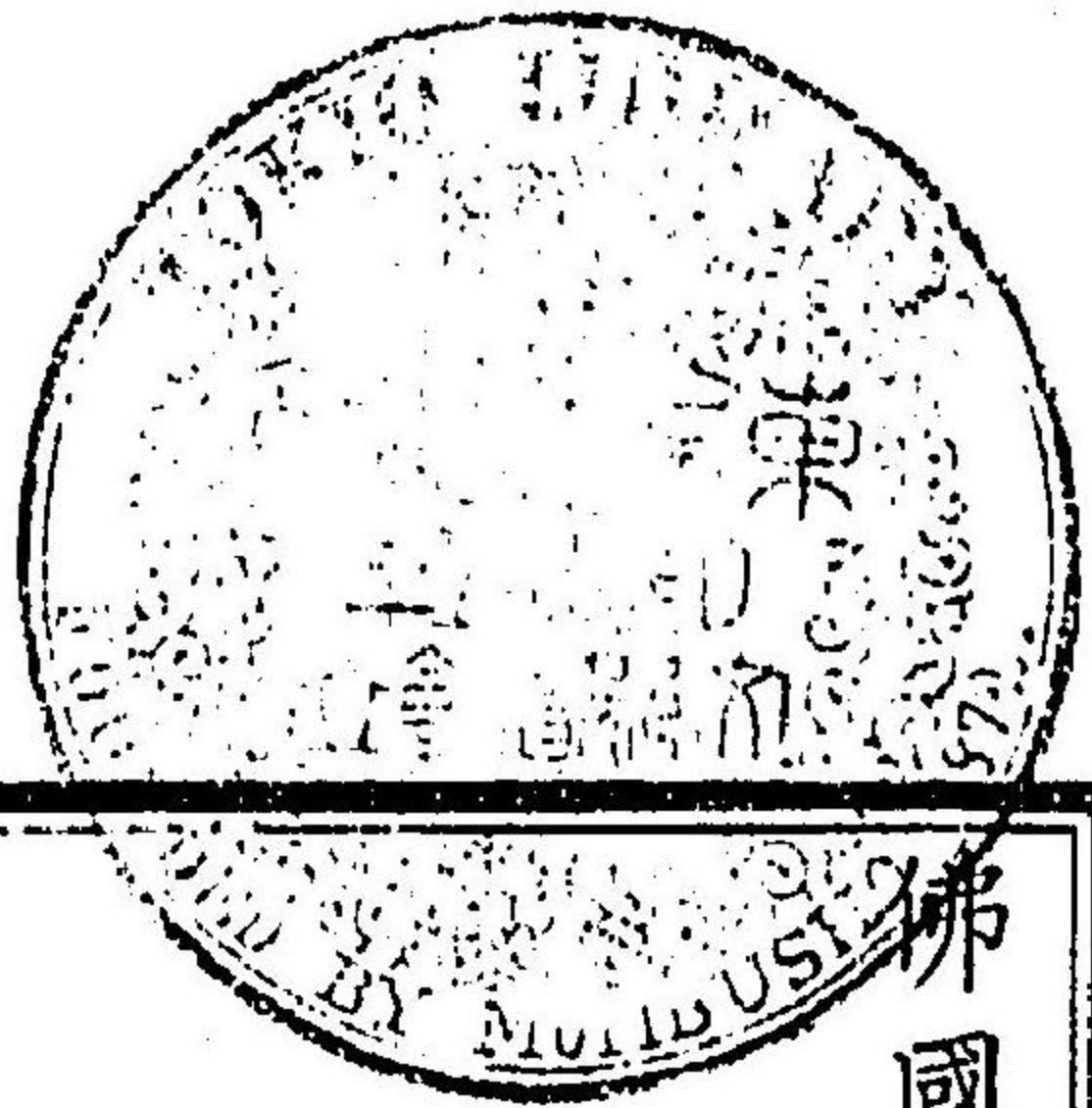
佛國民法契約篇講義

司法省藏版

東京圖書印



東京圖書印



東洋書局

佛國民法契約篇講義卷之四

明治十一年國書局發行

佛國法律博士

ボアソナード講義

日本權中法官

名村泰藏口譯

第三百

三十八條 物ヲ引渡ス可キノ義務ハ契

約

結ヒタル雙方ノ承諾ノミヲ以テ生シタ

ノトス

方

ノ者ニ其義務アル時ハ其物ヲ受取ル可

キ者其所有者トナリ之ヲ渡ス可キ者尚ホ未

タ其物ヲ渡サスト雖モ既ニ渡ス可キ期限ニ至リシ後其物ノ毀壞滅盡シタル時ハ之ヲ受取ル可キ者ノ損失ナリトス然レ其之ヲ渡ス可キ者其物ヲ渡ス₁ヲ怠リテ其物ノ毀壞滅盡シタル時ハ之ヲ渡ス可キ者ノ損失ナリトス

一 躰木條第一項ノ書法ハ物ヲ渡スヘキ契約ハ雙方ノ承諾ノミヲ以テ充分ナリトスト改ム可シ

此處ニ於テ定メテ置カサル可カラサル₁アリ

即チ曾テ説キタル確定ノモノト云フモノナリ

例ヘハ家屋ナラハ此家屋ト云ヒ地所ナラハ此地所ト云ヒ確定シテ契約ヲ爲スヘキ₁ナリ

又米穀ナラハ何百斤何百俵ニテ其價何程ト而已云テ其俵ニ番號ヲ記セサルモノハ不確定ノモノナリ

此條ハ民事ト商事トニ相通シテ用ユヘキナリ

斤量ノ高ヲ以テ定メタル契約ハ其品ヲ引渡シタル日又ハ何ノ地ト定ムテ持出シタル日ニ

アラサレハ所有ノ權ハ移ラズ
 品種而已ヲ以テ定メタル契約ニ於テハ其品ハ
 何ノ所ノ倉庫ニ有ルト云ヒ其倉庫ニ封印シ
 タル日ヨリ所有ノ權ハ移ルヘキナリ何ノ爲
 メニ右ノ如ク爲スト云ヘハ畢竟賣ル者ハ之
 ヲ賣ルヲ以テ満足シ買フ者ハ之ヲ買ヒ得タ
 ルヲ以テ満足スヘキ故ニ其雙方ノ満足心ヲ
 取替ユル譯ケナリ
 佛國革命前ノ法律ニテハ地所ノ賣買ト雖モ引
 渡シヲ爲サレハ所有ノ權ハ移ラサルヲナ

リシカ法律改正ノ時ヨリ右ノ如クナレタリ
 家屋ノ賣買ナトハ引渡シノ式ヲ行フモ肝要ト
 リト爲スヘキニ似タリ
 然シ山林ノ地所等ハ契約ヲ定メタルノミニテ
 別段引渡ヲ爲スニ及ハス又假令之ヲ爲シタ
 ルモ其用ヲ爲サス故ニ右ノ如ク定メタルモ
 ノナリ
 後項ハ確定シタル物ニ付テ云フナリ米穀等ノ
 種類ノ多キ物ヲ契約スルニハ假令千斤二千
 斤ノ所有主トナル可キ者ト雖モ日本全國中

ニハ其所有ノ外何百千萬斤モアルヘキナリ
仍テ何レノ品ハ其所有主ノ品ナリヤ知ル可
カラス故ニ受取渡シノ濟ミタル後ニアラサ
レハ所有ノ權ハ移ラスト爲ス
尤モ其受取渡シヲ爲ス迄ハ其品ニ就テ義務ヲ
生スルヲアルヘシ然レモ其所有ノ權ハ移ラ
ス只其渡ス可キモノハ之ヲ渡スヘキノ義務
有ル而已ナリ

此法律中ニ確定ノモノト斤量ノ高トヲ以テ定
メタレモ不確定ノモノ、區別ハ記載ナシ然

レ此條ノ云フ所ハ確定ノ品ヲ云フモノナリ
何故ニ確定ト不確定トノ區別ヲ爲スト云フ
ヲ辨明スルハ大肝要ナリトスルニ即チ分散ノ時
ニ於テ其確定ナルモノハ直チニ之ヲ受取得
可キナリ其不確定ナルモノハ各債主一般ノ
平均トナルヘキナレハナリ

不確定ノモノニ付テハ其契約ヲ爲シタル時ヨ
リ之ヲ渡ス可キノ義務ヲ生シ其後之ヲ渡シ
タル時ニ於テ其所有ノ權ノ移ルヲアリ或ハ
檢印等ヲ爲シテ其品ヲ確定シタル時ニ所有

ノ權移ル_レアリ
 所有ノ權ハ雙方ノ承諾ノミニテ移ル_レト為シ
 マルハ佛國改革以後ノ_レナリ其以前ハ承諾
 ノ上更ニ授受スヘキ_レト為セシナリ
 斤量ノ高ノミヲ定メテ此品ト指定セサルモノ
 ハ所有ノ權移ラス只受取ルヘキノ權利アル
 ノミ
 例ヘハ動産又ハ不動産ニ拘ハラス此品ト確定
 シ買ヒタル者ハ假令其賣主ニテ分散トナリ
 タルトモ其買主ハ平均ノ配當ヲ受ケス

然シ米穀等ノ斤量ノミ定メ買ヒタル買主ハ惣
 債主ト平均トナル之ハ不確定ノ品ナレハナ
 リ
 此旨意ニ付テハ既ニ屢説キシ故ニ分明ナレ
 猶注意ノ爲メニ更ニ説キタルナリ
 古昔ギリ_キ及ヒロー_マノ法又ハ佛ノ古法ニ
 テハ必ラス物ヲ引渡スカ又ハ引渡セリト言
 ハサレハ確定ノモノト雖モ所有ノ權ハ移ラ
 サル_レナリシ

古昔ノ未タ開ケサル世界ニテハ雙方承諾ノミ

ニテハ充分セサルトニ思ヒタリ其時ハ人心
 モ法律モ未タ其成立ノ始メナル故ナリ今日
 ノ開化シタル世ニ至テハ道理モ分明ナルニ
 ヨリ引渡シ又ハ引渡スト云ハストモ其所有
 ノ權ノ移ルトニ發明セシナリ

古昔ノ法ヲ以テ看レハ其授受ノ模様ヲ見テ傍
 人モ知ルヘキ故ニ一ツノ物ヲ再ヒ買フトハ
 無シト雖モ一躰其契約ヲ結フ雙方ノ者ノ承
 諾ノミニテハ傍人ヨリハ之ヲ知ルトヲ得ス
 仍テ一ツノ物ヲ再ヒ買ノト有ルナリ

然レ雙方ノ承諾ノミニテ所有權ノ移ルハ甚條
 理アルトナリ

家屋ヲ賣ルニハ買主ニテ直チニ代リテ住居ス
 ル故ニ何某ノ之ヲ買ヒタルト云フトヲ認ム
 ルヲ得ルト雖モ土地ヲ買ヒタル時ハ直チニ
 之ヲ開拓セサルトモアリ仍テ傍人ニテ之ヲ
 何某ノ買ヒタルト云フトヲ認ムルトヲ得ス
 此ノ如ク佛國ノ古法ノ短ナルニ仍リ新法ヲ設
 ケテ之ヲ補フタリ然レ仍ホ新法ニ短ナルト
 アリ依テ新古ノ短ヲ補フ爲メニ古法ノ短ト

新法ノ長トヲ合ハセ其長ヲ斷チ短ヲ補ヒテ
 一ツノ便利ノ法ヲ設ケリ
 契約ヲ爲ス者ノ雙方ノ間ニ於テハ承諾ノミニ
 テ充分ノカアルモノト看ルナリ然シ其雙方
 ノ他ノ者ニ對シテハ之ヲ充分ノカアリトセ
 ス
 他ノ者ニ對シテハソレノミニテハ足ラスタラ
 ンスクリプショント云ヒテイポテ^レキヲ取
 扱フ役所ニ備ヘタル帳面ニ登記スヘキナリ
 之ハ不動産賣買ノ時ニ限リ爲スヘキ手續ナ

リ
 何レノ地ノ役所ナリヤト云ヘハ不動産物件
 ル地ノ役所ナリ
 動産ヲ取扱フ^レハ後日ニ説ク可シ今日ハ只其
 何ノ為ノニ此帳面ニ登記スルヤノ^レヲ説カ
 ン
 例ヘハ甲ヨリ乙ヘ家ヲ賣リタル時ハ乙ニ於テ
 其帳面ヘ登記スヘキナリ
 其登記シタル上ハ己ニ甲ノ家ニアラスシテ乙
 ノ家ト爲ルナリ

然ルニ乙怠リテ帳面ニ登記セサリシナリ
 其時甲ヨリ又其家ヲ丙へ賣リ丙ハ直チニ之ヲ
 帳面ニ登記セリ
 此場合ニ於テ其家ハ誰ノ家ナリト云フトキハ
 即チ丙ノ家ナリト爲ス
 之ハ何ノ爲メトナレハ法律ヲ以テ一ツノ品ヲ
 再ヒ買ハサルトト定メタルヲ乙ハ怠リテ其
 登記ヲ爲サス故ニ丙ハ甲ヨリ己ニ乙へ賣リ
 タルトヲ知ラス之ヲ登記シタルニ仍テ丙ノ
 所有物トナルナリ

之ハ先キニ乙ニテ登記セサル故ニ丙ハ固ヨリ
 之ヲ知ラサル譯ナリ萬一之ニ反シテ乙ノ己
 ニ登記シタルヲ顧ミス丙ニテ買取リタル時
 ハ全ク不正ナルトナリ
 元来之ハ甲ノ不正ト云フヘキトナリ
 然ラハ其代金ハ甲ヨリ一方へ返サ、ル可カラ
 ス即チ乙へ返スヘキナリ
 其時若シ甲ノ分散トナリタル時ハ乙ハ一般ノ
 債主ト同シク平均ヲ受クヘキナリ
 畢竟之ハ乙ノ登記ヲ怠リタル故ナリ

此法律ハコード即チ此書ヲ編製シタル以前ノ
法ナリ

佛ノ始メテ共和政治ヲ爲シタル時即チ千七百
九十八年ナリコードノ編制シタルハ千八百
四年ナリ

其時コンセイエデター國議院於テ其以前ノ法ヲ
存ス可キヤ否ヤノ大議論アリ

贈遺ニ因テ所有權ノ移ルモノアリ
此一件丈テハ役所ヘ行キ登記セシムル方ヲ宜
シト云フノ論ハ直チニ一定シタリ即チ恩惠

ノ契約之レナリ

今日説ク處ノ第千百三十八條ノ要債ノ契約ノ

トハ其論ニツニ分カレタリ

此事ニ付テハ此登記ノ論ヲ暫ク止メテ賣買ノ
章ニ至リテ之ヲ論定セント云ヒタリ

即チ第千百四十條ニアリ之ヲ看ル可シ

此第千百四十條ハ與ヘ及ヒ引渡スト雙方ノ
ミニ記シテアレド之ハ誤マリナリ他ノ傍人
ニモ知ラスルトニ非ラサレハ宜シカラス
賣買ノ章ニ至リ其論モ亦分カレタリ仍テイボ

テ一キノ章ニ於テ論定セント云ヒテ又止メ
タリ

第千五百八十三條ニアリ之ヲ看ル可シ
之ヲ此ノ如ク反復説明スルコトハ法律ニ於テハ
甚タ可ナルコトナレハナリ

其第千五百八十三條ハ賣買ニ付キ其雙方ノ
ノミヲ云ヒテ他ノ傍人ノ一ニハ論シ及ハサ
ルナリ

イホテ一キノコトハゴードノ最終ニ在リ其所ニ
於テハ何レニカ決セサルヲ得サルナリ

其イホテ一キノ章ニ至リ舊法ノ如ク帳面へ登
記セサルヲ得スト論定セシナリ

コトニ至リテ帳面へ登記スルコトヲ許サ、ルヲ得
スト決定シテ之ヲ議員へ廻シタリ其議員ニ
於テハ一々條款ヲ立テ廻議セサルヲ得サル
可キナレバ唯登記ス可シトノ文案ヲ以テ評
議シ且投票シテ之ヲ布告シタリ故ニ其事ニ
付キテハ一々條款ヲモ設ケサリシナリ仍テ
其條款無キ儘ニテ布告シタルモノナリ

之ハ遺忘シタリヤ如何ナル故ナリシヤ知ル可
ラス尤法律中ニ其登記ヲ爲サ、ルヲ得サル
トハ記シテアレトモ其何ノ爲メニ之ヲ爲ス
ト云フノ大旨意ハ記シテ無ク仍テ其記シテ
アル箇條々テモ遂ニ其用ヲ爲サ、ルトナ
リタリ
右ノ如ク帳面へ登記スルトヲ許サレタリト雖
モ其條款無キ故五十一年間ハ人民ハ此登記
ノトハ取消トナリタルト思ヒ居タリ之カ爲
メ大イニ不都合ナルトト不幸ナルト有リタ

故ニ前文ノ如ク乙ノ買ヒタル家ヲ丙ノ買ヒタ
ル時ハ丙ハ其家ヲ引キ上ケラレタリ
此ノ如ク其法律有リトモ其効ハ無カリシナリ
千八百五十五年三月廿五日ニ至リ原トニ復シ
共和政治ノ時ニ於テ制定シタル法ニ爲シタ
リ
其五十一年間ハ州會議院ヨリ古法ニ復セサル
ヲ得サル者ト論シ出シタルナリ
此ノ如キトハ五十一年間ノ長キヲ待タストモ

改革シテ然ル可キナレハ佛國ニテハ兎角改革ノ一ニ付テハ長クカ、リシナリ此長クカカリシハ何ノ爲メナルト云フ一ハ余モ知ラサルナリ

尤モ一世ナホレオンノ改革セシ一ハ隨分多シト雖モ其後度々ノ政治變革ニテ此法律ヲ一定スルノ暇アラサリシナル可シ

千八百五十二年ニ至リ不動産ヲ抵當トシテ金ヲ貸ス會社起リタリ

此登記ノ一ハ其會社ヨリ再ヒ始マリタリ之ハ

其會社ヨリ頻リニ議論ヲ爲シ終ニ此法ヲ立テ然ル後チニ其會社ノ業ヲ始メタリ

其會社ノ創業人ハ格別ノ豪傑ナリ

此登記ノ法ハ其會社ノ利益第一ノ一ナリ故ニ最モカヲ用ヒタルナリ此法ハコルドノ末ニアル雜法中ニ少シク記シテアリ

其法律ハ整齊ナラサル故ニ法律學校ノ教師モ殆ント困却セリ

故ニ民法ト此法トヲ合セテ行ハサルヲ得サルナレハ思ノ様ニハナラス

然レ輒近ハ登記ノ法方ヲ人民ノ熟知レタル故
大抵ハ行ハル、ナリ

北京ニ在ル間ニ此事ヲ著ハセシモノアリ若シ
日本ノ用ニ爲ス、モ有ラハ幸甚

然レ日本ノ用ヲ爲サ、レハ佛ノ用ト為ス可
シ

法律中ノ條件ハ萬國一樣トハナラサルモノナ
リ

即チ親族間ノ法ハ萬國ニ異同アリテ一定セス
然レ日本金銀ニ關スル法ハ其道理上ニ於テ萬

國トモ一樣ナラサル可カラサルモノナリ

問 イホテ「キ」トハ不動産書入質ノ「ナリ」之

ハ其役所アリヤ

答 其役所ヲ「コンセルワトール、デ、イホテ「キ」

ト云フ「イホテ「キ」ヲ保全スルト云フ義ナリ

或ハ「イホテ「キ」ノ者護ヲ爲スト云フ義ナリ

其役所ニテ賣買贈遺等惣テ不動産所有ノ權ノ

移ル「ヲ」取扱「ナリ」

所有ノ權ノ移ラサル以前ニ於テ其質入ノ手續

ノ成リタルモノ故ニ其順序ヲ以テ「イホテ「キ」

キト名ケタルナレバ前ニ謂フ所ノニツノ義
トモニ含ミテ有ルナリ
其後ニ所有ノ權ノ移ルトヲ任セタルモノナリ
其役人ハ人民中ヨリ政府ノ選ミヲ以テ之ニ任
ス給料ハ其登記等ノ額ニ循フテ其分割ヲ取
ルモノ故ニ其役人ノ怠リニ因テハ非常ノ償
金ヲ出ストモ有ルナリ
一躰イホテ一キハ固ヨリ有益ノトナリ
既ニイホテ一キヲ爲シタル上ハ分散ノ時特アリ
ウイ權レ一ジノ權ヲ有スルナリ之ハ利益ノ大

ナルモノナリトス
例ヘハ雙方貸借ノ契約ヲ爲スニ貸ス者ニ於テ
イホテ一キノ役所ニ行キ帳面ヲ觀改メ若シ
既ニ其家ニ付數人ノ貸主アリ仍テハ何程ヲ
貸ス可シト云フノ見込ヲ立ツルナリ
或ハ一人モ其登記ヲ爲セシモノ無シ然レバ他
ニ貸主アリ其時ハ始メテ登記ヲ爲シタル者
ヲ第一ト爲スヘキナリ
ローマノ舊法ニ於テハ此法無シ故ニ一ツノ家
ニテ數人ノ貸主有リ其内第一ニ貸シタル者

ハ全權ヲ有ス其他ノ者ハ甚々迷惑トナルナ
リ

千七百九十九年ニ佛國ニテ此法ヲ議定セリ

イホテ^イキ^ルノ^トニ付キ又利益アル^ト有リ

例ヘハ一ツノ家ノイホテ^イキ^ルト爲リタルモノ

有リ其家ヲ賣ル時ハ其登記ヲ爲シタル順序

ニヨリテ其代金ヲ取ル可ク故ニ賣主ニ於テ

ハ其代金ヲ取ル^ト得ス

故ニ家ヲ買フニハ必ス其買主ニテ役所ヘ行キ

イホテ^イキ^ルノ有無ヲ問フヘレ其時ハ役所ニ

テ其^イホテ^イキ^ルト爲リタル姓名順序ヲ書イ
テ渡ス可シ

其書付中姓名ノ順序ニヨリ其家ノ賣拂高ヲ以

テ負債ノ返金ヲ渡ス可キナレモ萬一其賣拂

高ノ返金ニ足ラサル時ハ順末ニ至リテハ其

返金ヲ取り得サル者アリ然ル時ハ其者ノ^イ

ホテ^イキ^ルノ權ハ消滅シテ抵當ナキ尋常ノ債

主トナルナリ

然シ之ニテモ弊害アリト注意セサルヲ得ス

例ヘハ家ヲ賣ル者ニテ買主ニ向ヒ其家ヲ債主

ハハ何程丈ケニ賣リタリト云フ可シト其眞價ヲ減シテ外面ノ買高ヲ偽ラントテ密カニ頼ム者アル可シ之ヲ防クノ法無カルヘカラス

債主ニテ其價ノ賤シキト見込ムキハ糶賣ヲ爲ス可シト雖モ其時ハ債主ノ中糶賣ヲナサント云フ者ニテ其賣拂高ト云ヒタル全額ノ十分ノ一ヲ上ケサル可カラス然シ其他ニ貴ク買フ者アル時ハ之ヲ其貴ク買フ者ニ賣ラサルヲ得ス

例ハハ甲乙丙丁戊ト五人ヘイホテ一キト爲リタル家ヲ他ノ一人ニテ一萬圓ニ買ヒタリ仍テ役所ヘ登記シ其債主中甲者ヲ始メ登記ノ順次ヲ以テ其代價ヲ負債ニ拂ハサルヲ得ス然レモ甲乙丙マテ拂フヘキ金ハアレトモ丁ニ拂フ可キ金ハナレ其時丁ニテ其代價賤シト考ヘ仍テ糶賣ヲ爲ス可シト云ヒ自カラ其代價十分ノ一タル千圓ヲ増ス時ニハ顛末ヲ詳カニ書キ付テ三十日間裁判所ノ門前ヘ貼付スルナリ其三十日後ニ至リ裁判所長官ニ

テ千圓ノ増金ノ付キタルヲ讀ミ聞カヒ糶
 賣ヲ爲ス其糶賣ノ金額一萬千圓以上ニ上ル
 時ハ丁ノ責任ハ消滅スルナリ萬一糶賣ノ價
 一萬千圓ニ上ラサル時ハ即チ丁ニテ之ヲ引
 受ケ甲乙丙ヘ其代價ヲ分配スヘキナリ其時
 ニ至リ丁ハ自己ノ分ヲ抜キ取り其餘リハ戊
 マテノ拂ヒ金ニ足ル時ハ戊ニテ之ヲ取ル
 ヲ得ルト雖モ若シ不足ナルキハ戊ハ之ヲ取
 ルヲ得ス一旦糶賣ヲ爲シタル上ナレハ再
 度糶賣ヲ爲スヲ得ス故ニ戊ニテ自己ノ受

取ルヘキ金ニ足ラサルトモ夫レマテナリ其
 時ハ戊ハ無論ニ書入ノ効ヲ失フヘキナリ丁
 ニテハ最初賤シキト見込ミタルモノ故十分
 ノ一ハ必ス上ケサルヲ得ス其十分ノ一ヲ上
 ケサル時ハ餘人ヲ無益ニ困却セシムル譯ナ
 リ萬一其價ヲ尚更ニ上ケ度ト思フ時ハ其糶
 賣ノ時ニ於テ之ヲ爲スヘキナリ
 問 例ヘハ丁ニテ十分一ノ増價ヲ出サント云
 ビタルキ最初他ノ一人ヨリ其十分一ノ増價
 ヲ出ス可キニ付其家ヲ我ニ賣ル可シト云フ

トヲ得可キ哉

答 能ハス併シ五人ノイホテ一キ^レ丈ケニ足ル
 金額ヲ出ス時ハ宜シトス
 元ヨリ五人ノ内ナラハ之ヲ誰ヨリ云ヒ出シタ
 リ^レ妨ナシトス併シ實際ニ於テ我カ金丈ケ
 ヲ取り得ヘキ者ハ決シテ云ハサル可シ
 之ヲイホテ一キ^レヲ洗フト云ナリ
 此事ハ第二千百十一條以下ニアリ
 余ハ此法ヲ美ナリト思フナリ
 第一千百三十八條並ニ第一千百三十九條ヲ未タ説

カサレ^レモ所有ノ權ノ移ルヘキ方法ノ接續ス
 ル所ナレハ第一千百四十一條ニ移リ説カサル
 ヲ得ス

動産ノ所有權ノ移ルモ不動産ト同ク契約ヲナ
 ス雙方ノ者ノ承諾ノミニテ移ル^レハ論ヲ待
 タスレテ明カナレ^レモ其餘ノ人ニ對シ其權ノ
 移ルヲ定メサル可カラス
 例ヘハ引續イテ三人ヘ或ル動産ヲ賣ラント契
 約ヲ爲スニ其權甲ニ移ルカ又ハ乙又ハ丙ニ
 移ルカヲ定メサルヘカラス

佛ノ古法ノ如ク引渡シタル後ニアラサレハ所
 有ノ權移ラスト云フ時ハ聊カ不都合ハ無シ
 ト雖モ今日契約ヲナス雙方ノ者ノ承諾ノミ
 ヲ以テ所有權ノ移ルモノト爲ス時ハ甲乙丙
 何レニ移ルヤ知ル可カラス之ハ法律ヲ以テ
 防カサルヲ得サルナリ
 引渡ス可キノ契約ヲナス者ノ引續イテ三人有
 ル時ハ其動産ヲ受取りタル者ニ所有ノ權ア
 リトス假令前ニ契約ヲナレタリトモ現ニ其
 物ヲ受取りタル者ニアラサレハ所有ノ權ヲ

有セサルモノトス

斯ク云ヘハ佛ノ古法ニ戻リ授受ノ後ニ所有ノ
 權定マルカ如シト雖モ然ラサルナリ

之ハ元來正直ノ心アルモノトシ論セサル可カ
 ラス何トナレハ己ニ人ニ賣リタルヲ全ク知
 ラスレテ買フタル時ニアラサレハ所有ノ權
 ハ移ラサルナリ

古法ニ於テハ正直ノ心ナク凡物ヲ受取りサヘ
 スレハ其權アリトス

新法ハ人ニ賣リタルヲ知ラサル時ニアラサレ

ハ其權移ラス

之ハ物ヲ引渡シタルニ付キ所有ノ權ノ移ルト

云フニハアラスアレクシヨシニヨリテ

移ルナリ

動産ニ付テノアレクシヨシハ其引渡ノ時

ニ直チニ生スルナリ民法第二百七十九

ニ之ヲ有スルヲ以テ其所有ノ權アリト看做

ス可シ云々是其原則ナリ然レ以下ハ紛失ト

盗賊トノニツヲ云フノミ不動産ニ付外人ニ對シ所有ノ權ノ移ルハ不動

産ノ契約ヲナシタルトテイホテ一キノ後

ニアル帳面ニ登記シタル時ヨリ移ルナリ動

産ハ雙方承諾ノ時ニ於テ直チニ其物ヲ渡シ

タレハ直チニ其權移ルナリ

故ニ其契約ノ時ハ互ニ正直ノ心ナカルヘカラ

ス且ツ夫カ為メ外人ノ迷惑トナラサルトテ

要ス可シ

問 例ヘハ動産物ヲ買フニ既ニ他人ニ賣タル

物ナルカハ之ヲ如何スルヤ

答 其時ハ既ニ出シタル代金ヲ取戻シ且右ニ

付テノ損害ノ償ヲ取ルヘキナリ

問 其重賣シタルモノハ如何所置スルヤ

答 刑事ニハアラス民事ノ罪ナリト為ス

問 何ノ為メニ民事ノ罪ナリヤ

答 之ハ法律ニ於テ雙方相互ヒノ私益ノ害ニ

テ人民一般ニ係ル公益ノ害ヲ生スルモノト

ハ看做サ、ル故ナリ

問 賣ルモ贈ルモ同シキヤ

答 然リ

問 之ヲ三重四重ニ賣リ且ツ同シク贈ル時ハ

如何

答 聊カ罪ナレト為ス尤モ是等ノコトヨリ重

キ罪ナリト見ルモノモ民事上ニテハ民法ノ

ミニテ刑法ヲ加ヘサル個條アリ諸君ノ怪ム

所ハ其理無キニアラス然レ佛國ニテハ此民

法アル上ハ刑法ヲ以テ罰スルヲ得ス

暴行等ハ有心故造ナリ刑法ヲ以テ罰スヘキニ

似タリト雖モ之ヲ民法中ニ置ク

或ル日「ロキールアンヘリアル」檢事ニ對シ錯誤

ノ契約等ハ詐偽ナリ何ノ為メニ刑法中ニ入

レサルヤト問ヒタリシニ檢事曰ク之ハ民法

ニテ處分シ來リタル習慣ナリ故ニ刑法ヲ以テ訴フルトテ得スト云ヒタリ

佛國ノ現今ノ法ニテ物ヲ賣ルニ〔牛乳等〕質ハ違ヒタル時ハ之ヲ刑法ニ問フトリ仍テ我ハ所有ノ權ヲ違ヒタルモノハ物ハ質ヲ違ヒタルト同シ理ナリト論スルナリ

佛國ノ裁判官ハ理論ヲ欠ク所アリ日本ノ裁判官ハ理論ニ富ムト見ヘタリ

佛國ニテ人ノ信義ニ背クト云フ刑律アリ例ヘハ物ヲ托ヒラレテ之ヲ鹿末ニナシ又人ノ使

价ヲ爲シテ其書面ノ封ヲ拆ク等ハ刑事ニ問フナリ且損害アレハ其償ヲモ徴シ刑民兩法ヲ加フヘキナリ

例ヘハ物ヲ人ニ賣リ二三日ノ内ニ引渡スヘシト爲シ其引渡スマテハ人ノ代理ヲ爲スカ又ハ人ノ物ヲ預カルカノ二ツノ責ヲ任セサルヲ得ス然ルヲ人ニ賣ルハ信義ニ背クモノナリ故ニ刑事ニ入ラサルヘカラス
秤ノ目ヲ差違シ又外ノ量ノ差違スル時ハ之ヲ改ムル而已ニテ其差違ヲ辨知スヘキナリ

ト雖モ罰アリ況ンヤ人ニ托シテ安心シテ居ルヲ其托セラレタル者ニテ賣ルハ甚ク不正ナルヲナリ若シ自分ニテ檢事ト為ラハ必ス之ヲ刑事ニ訴ヘント欲ス

一般ノ風俗又ハ安寧ニ係ルノ罪ハ盡ク刑事ニテ罰スルヲ以テ可ナリト為ス然シ之ヲ重クスルハ好ムヘキトニアラス適宜ニスル方ヨロシ

罪ヲ重クスルハ刑法ノ旨意ニアラス只其正理ニ違フトハ條規ヲ設ケテ之ヲ罰ス可キナリ

第一千百三十六條 人ニ物ヲ與フ可キノ義務アル時ハ其物ヲ引渡スノ義務ハ其引渡ニ至ル迄之ヲ保全スルノ義務アリトス若シ其義務ヲ行フ可キ者之ニ背ク時ハ義務ヲ得ヘキ者ニ對シテ其損失ノ償ヲ為スヘシ

人ニ物ヲ引渡スノ契約ヲ為ス時ハ必ス引渡シヲ為スヘシ其引渡スマテハ之ヲ保全セサル可カラス保全スルトハ即チ我カ所有ノ物ヲ取扱フト同シク大切ニ之ヲ保全スルトナリ

萬一之ヲ引渡サ、ル内ニ誤テ毀損シ又ハ盜賊

ニ盗マレタル等ノ時ハ其損害ノ償ヲナサ、ル可カラス

第一千百三十七條 契約ヲ結ヒシ者ノ中一方ノミノ利益ヲ目的ト爲スト雙方ノ利益ヲ目的ト爲ストヲ問ハス一方ヨリ一方ニ引渡スヘキ者ヲ保全ス可キノ義務アル時ハ其義務ヲ行フヘキ者其物ヲ毀損セサルニカメテ注意ス可シ

古法ハ權利アル者ヨリ義務アル者ニ對スル法ハ酷ニ過キ義務アル者ヨリ權利アル者ニ對

スル法ハ寛ニ過キタリ雙方共ニ權利アル者ハ平均ナリトス

新法ハ此等ノ法ヲ惣テ破壊シ權利者及義務者雙方對立ノ法トナシタリ

然シ時ニヨリ平均ノミニ限ラス一方偏重ノ事モアリ

人ノ物ヲ預カリタル時ハ之ヲ保全スルヲ當然ナリ然シ其人ニテ之ヲ保全セサルトモ元來其人ハ自己ノ所有物ヲモ保全セサル人物ナラハソレマテナリ之ヲ訴フルヲ得ス

佛國民法論

卷四

二五

法律

ヲ我カ物ヨリ大切ニセサル可カラス例ハハ
 火災等アリテ一方ノモノ、ミヲ助クルヲ得
 ヘキ場合ニ於テハユザージユノ品ノミヲ助ケ
 サル可カラス
 例ヘハ甲ヨリ乙ハ馬ヲ借リタリ乙外ニ一馬ヲ
 有ス各別厩ニアリ其都合ニヨリ乙ノ馬ノミ
 ヲ助ケ甲ノ馬ヲ助ケサル時ハ甲ノ馬ノ償ヲ
 爲サ、ルヘカラス
 第一千九百二十條ニ物ヲ預ケル第一千八百八十

二條ユザージユノヲアリ之ヲ看ル可シ
 會社ノ品ハ我物同様ニ注意スレハ足レリ別ニ
 一層ノ注意ヲ爲スニ及ハス何トナレハ會社
 ハ兄弟ト看ル故ニ別ニ酷ナル望ミハナキナ
 リ
 會社ノトニ付テハ別ニ個條ハナシ然レ之ハ羅
 馬ノ法ヨリ生シタル萬國普通ノ法ナリトス
 會社ノ品ハ畢竟各互ニ我カ所有品トスヘキモ
 ノナリ故ニ此ノ如クニナシタル譯ナリ
 之ヨリ以下ハ第一千百三十八條ノ後次ニ在ル所

ノ物ノ損害ヲ生シタル時ノ一ヲ説カントス
 右ニ付キニ々通りアリ
 第一 天災ヨリ生スルモノ
 第二 人ノ怠リヨリ生スルモノ
 物ヲ引渡ス前ニ出火洪水又ハ兇器ヲ以テ迫ル
 強盜等ニ付キ物ヲ失ヒタル時ハソレ迄ナリ
 然レ己ニ賣リタル物ナレハ買主ヨリ其代價ヲ
 償ハサルヲ得ス贈遺ナレハ其贈遺ヲ受ルモ
 ノニテ謝詞ヲ述ヘ且ツ其恩ヲ忘ルヘカラス
 之ハ權利アル者ノ損害ニテ所謂災難ト云フモ

ノナリ
 其時ハ只天災ナリト云ヒタルノミニテハナラ
 ス必ス其天災ノ證據又ハ證人ヲ立テサル可
 カラス其方法ハ第一千三百二條ニアリ
 之ニ反レ義務アル者ノ怠リヨリ生スル時ハ其
 損害ノ償ヲ爲サ、ル可カラス其方法ハ第千
 百三十八條ノ終リニアリ
 例ヘハ若シ賣買ノ契約ニレテ馬一疋ヲ百圓ニ
 買ヒ其代價ハ未タ拂ハサルナリ然ルニ義務
 アルモノ怠リニテ其馬ノ死シタル時ハ買主

ニテ百圓ヲ拂ヒ賣主ニテ本價百圓ノ外償金
 何十圓ヲ買主ヘ償ハサルヘカラス其時ハ賣
 主ニテ買主ヨリ百圓ヲ受取ラス只償金ノ何
 十圓ノミ買主ヘ渡シテ足レリトス
 若シ交換ノ契約ニ於テ一方ノ品ヲ未タ渡サス
 之ヲ怠リニテ損害ノ生スル時ハ何程カノ損
 害ノ償ヲ出スノミニテ足レリトス
 天災ノ時ト雖モ例ヘハ引渡ス可キ日限ヲ過キ
 テ天災ニ罹リタル時ハ則チ怠リナルヲ以テ
 償ヲ爲サ、ル可カラス

例ヘハ三十一日ニ引渡ス可キ契約ヲナスニ翌
 月ノ一日ニ至リ天災ニ係リタル時ハ之ヲ償
 ハサル可カラサルナリ
 此條ニ於テハ天災ナリトモ期限ヲ過キタル時
 ノトヲ云フモノナリ
 其授受ノ際雙方共ニ天災アリテ焼失シタル時
 ハ雙方トモニ夫レ切ノナリ然レ一方ニ土藏
 アリテ之ヲ保全スヘキ道アルカモ知ルヘカ
 ラス故ニ之ヲ能ク注意ス可キナリ尤萬一其
 受取ルヘキ物ノ全ク焼燼シタルキハ夫迄ニ

テ已ムヲ得サル譯ナリ
 第一千三百二條ニアリ牽連シテ説クヘキナリ
 期限ヲ怠リタルトテ只徒ラニ之ヲ責ムルヲ
 得ス必ス一ツノ書付ナカル可カラス
 第一千百三十九條 物ヲ引渡ス可キノ契約ヲ爲
 シタル者之ヲ渡スヘキノ催促書ヲ受ケ又ハ
 其催促書ニ等キ書面ヲ受ケ尚ホ、之ヲ渡サ、
 ル時又ハ契約中ニ一方ヨリ別段其物ヲ渡ス
 可キノ催促書ヲ送ラスト雖モ唯其渡ス可キ
 期限ノ經過セシノミニ因リ之ヲ渡サ、ル者

怠リノ咎アル可キヲ預メ定メタルニ其期
 限ニ至リ尚ホ之ヲ渡サ、ル時ハ之ヲ渡サ、
 ル者怠リノ咎アリトス
 物ヲ引渡スヘキ期ニ至リ之ヲ引渡サ、ル時ハ
 催促書ヲ送ラサル可カラス此催促書ハ即チ
 命令書ナレハ使吏、之ヲ書クヘキナリ
 所謂裁判所ヲ經サル命令書ナリ
 其催促書ヲ以テ執行セシメントスル時ハ即チ
 公正ノ書ト云フ可キナリ
 或ハ催促書ニ齊シキ他ノ書類ヲ以テ之ヲ催促

スヘキコアリ
 之ハ催促書トハ違フナレバ即チ使吏ニテ之ヲ
 書ク可キナリ
 ボアソナードノ説ニハ權利アルモノヨリ書面
 ヲ送り義務アル者ニテ承知シクリト云フ片
 ハ此書面ノミニテ催促書ニ齊シキ書ト爲レ
 テ可ナリト思フナリ
 之ハ法律ニ於テ少シモ害ナシ然レ義務アルモ
 ノニテ之ヲ知ラサリシト云フ時ハ其證據ト
 ハ爲レ難シ

又或ハ其契約書ニ其期限ニ渡サ、ル時ハ云々
 ト書イテアル片ハ別段期限ニ至リ催促書ヲ
 送ラストモ可ナリト思フナリ
 第一千百四十六條ト第一千百三十九條トハ相牽連
 シテ説クヲ要ス
 第一千百四十六條ニ義務ヲ行フ可キ者其義務ヲ
 行フコトヲ怠リシ時ハ義務ヲ得可キ者ニ損失
 ノ償ヲ爲スヘシ但シ義務ノ行フ可キ者其約
 定ノ期限ヲ過セシ時ト雖モ事故アリテ其定
 期內ニ契約ノ如ク物ヲ與ヘ又ハ事ヲ爲スト

能ハサル時ハ格別ナリトス
此條ハ第一千百三十九條ノ次ニ置カサルヲ得サ
ルモノナリ

例ヘハ何月何日ハ祭禮ナリ其日迄ニ諸道具ヲ
具フルトヲ受負ハシメタルニ其受負人ニテ
萬一己ニ期シタル祭日迄ニ之ヲ具ヘサル時
ハ一通ノ催促書ヲ送ラスモ即チ其受負人ノ
怠リト爲ス可キナリ

第一千百三十六條并ニ第一千百三十七條ハ物ヲ保
全スルトヲ云フ

第一千百三十八條第一千百三十九條第一千百四十六
條ハ物ノ滅盡スルトト期限ヲ怠ルトトヲ云
フ

第一千百四十八條第一千百三十三條ハ怠リヲ云フ
モノナリ

第一千百四十八條 義務ヲ行フ可キ者抗拒ス可
カラサル力ノ為メ強迫セラレ又ハ意外ノ事
故アリテ其義務ノ如ク人ニ物ヲ與ヘ又ハ事
ヲ為スノ妨ケヲ受ケ又ハ其為ス可カラサル
事ヲ為シタル時ハ一方ノ者ニ其償ヲ為スニ

及ハス

此條ハ即チ天災ニ逢ヒタルト云フモノナ
リ

天災ニ逢ヒタルノミヲ云ヒテ期限ヲ怠リタル
トハ云ハス

方今我カ編スルモノニ右等ノ類ヲ以テ集メテ
アルナリ

此法律ニテハ各所ニ散見スルユエ讀ムニ困難
ス

第三款 事ヲ爲ス可キノ義務及ヒ事ヲ

爲ス可カラサルノ義務

第一千百四十二條 事ヲ爲ス可キノ義務又ハ事

ヲ爲ス可カラサルノ義務アル者其義務ヲ行
ハサル時ハ一方ノ者ニ其損失ノ償ヲ爲ス可
シ

第一千百四十三條 又義務ヲ得可キ者ハ義務ヲ

行フ可キ者ノ契約ニ背キ為シタル諸件ヲ廢
棄セシム可キノ訴ヲ爲スノ權アリ但シ其諸
件ヲ廢棄スルトハ其義務ヲ行フ可キ者ノ費
用ヲ以テ之ヲ爲ス可ク且ツ別段ノ道理アル

時ハ義務ヲ行フ可キ者ヨリ義務ヲ得可キ者
ニ損失ノ償ヲ爲ス可シ

第一千百四十四條 又義務ヲ行フ可キ者之ヲ行
ハサル時ハ義務ヲ得可キ者其義務ヲ行フ可
キ者ノ費用ヲ以テ他人ヲシテ其義務ヲ行ハ
シムルヲ得可シ

契約編ノ初メ千百一條ニ引渡スノ義務爲ス可
キノ義務爲ス可カラサルノ義務ノ三ツアル
トヲ説キタリ

今日ハ事ヲ爲ス可キノ義務及ヒ事ヲ爲ス可カ

ラサルノ義務ヲ説カントス

事ヲ爲ス可キト事ヲ爲ス可カラサルトノ二ツ
ノ義務ハ若シ遂ケサル時ハ其損失ノ償ヲ以
テ其義務ヲ解クナリ

或レ場合ニ於テハ實物ヲ以テ其義務ヲ遂ケシ
ムルトアリ

併シ償ヲ以テスルハ當然ノトナリ

例ハハ契約ヲ爲シテ家ヲ建テシム其受負タル
者ハ爲ス可キノ義務ナリ

若シ之ヲ建テ得サル時ハ石ヲ負ハセ又ハ拷問

ヲ為ストモ建テ得ルモノニアラス
 之ニ償ヲ出サレノ他ノ人ニ建テシムルトス
 例ハハ畫ヲ書カセ又ハ彫刻ヲ為サレムルニ鑿
 等ヲ以テ為セト云トモ之ヲ為シ得ルモノニ
 アラス仍テ償ヲ取ルトト為ス
 事ヲ為ス可カラサルノ義務ハタトヘハ契約ア
 リテ我カ所有ノ地ハ器械所又ハ家ヲ建ツハ
 カラサル時ノトヲ云フ之ハ隣家ノ害トナル
 ヲエナリ
 然ルニ之ヲ建テタリトモ隣家ヨリ暴行ヲ以テ

之ヲ妨クルト能ハス償ヲ取ル可キナリ
 以上ノ事ニ於テ契約ニ背クトキハ直チニ金銀
 ヲ取ラス之ニ換ユルニ物ヲ以テスルトナリ
 若シ家ヲ建ツルノ契約ヲ遂ケサル時ハ其受負
 高ヲ以テ他ノ大工ニ建テシムルトアリ其時
 ハ全ク家ヲ建テ得ルナリ
 為ス可カラサルノ義務ニ反シテ之ヲ為シタル
 時ハ或ハ其家ヲ毀テ或ハ其木ヲ他ヘ移シ植
 ヘシムルトアリ
 是レマテ説キタルモノハ第一千四百十二條千百

四十三條千百四十四條ノ大意ナリ

千百四十二條ハ一般規則ノ大様ナリ

其次條ハ契約ヲ遂ケサル時ハ廢棄シ又ハ廢棄

セストモ償ヲ取ルノ模様ヲ説キタルモノ

ナリ

千百四十三條ト千百四十四條ハ千百四十二條

ノ意ヲ補ヒタルモノナリ

併シ此二條ノ如ク行ハレサルヲヤ、アリ其時

ハ千百四十二條ニ依ルナリ

タトヘハ何月何日ハ祭日ナリソレマテニ家ヲ

建ルヲ契約スルニ其受負タル者之ヲ遂ケ

ス

其時ハ他人ヲシテ之ヲ建テシムルトモ能ハス

其要用已ニ過キ去レリ其時ハ止ムヲ得ス

償ヲ取ルナリ

又冬日暖ナル室ヲ作ルカ又ハ圍井ヲ為スヲ

契約スルニ寒キ時ヲ過キテ春トナル其時ハ

他人ヲシテ之ヲ為サシムルモ用ヲ為サス仍

テ償ヲ取リテ之ヲ解クナリ

又富士山へ登ルニ付キ大ナル人力車ヲ作ル

ヲ契約スルニ其期日マテニ出来セズ期會ヲ失ヒタリ其時ハ償ヲ取ルヨリ外ハナシ又葡萄酒蠟燭等ノナキ國へ行クニ付キ注文シタルモノ其發程マテニ調ハサル時モ前ニ同シ

其償ヲ取ルハ我カ肝要ナル時ヲ過クス故ナリ又償ヲ取ルニ一例アリ

例ハハ高名ノ畫工又ハ工人アテ之ニ托ス然ルニ其契約ノ期日ニ出来セサルナリ之ヲ他人ヘ托スルヲ欲セス其人ヲ見込ミテ托シタ

ルモノナレハ其人ヨリ償ヲ取ルヨリ外ハナシ

鳥ノ可カラサルノ契約アルニ家ヲ建テ樹ヲ植ヘタル時ハ其家ヲ毀テ又ハ樹ヲ移シタル等物ヲ毀テモ契約ヲ遂ケ得ルナリ

然ルニ病アルトキ隣家ト契約シテ絃歌ヲ禁スルヲ又ハ臭氣アルモノヲ燒クヲ禁スル等ノ契約ヲ遂ケサル時ハ形テ無キモノニ毀テ又ハ移スト能ハス償ヲ取ルヨリ外ハナシ

コ、ニ製造所アリ車ヲ回スニハ水ヲ溜メサル

可カラス其隣ニ圃アリ其圃主ニテ何月ヨリ
 何月マテハ加減シテ水ヲ溜メ可シトノ契約
 ニ付テ水ヲ多ク溜メ圃ノ害ヲナシタル時ハ
 之ヲ毀ツトテ得ス必ス償ヲ取ルナリ
 又之ニ反シテ田ノ為メニ水ヲ減ス可カテサル
 ヲ減シタル時モ亦同シク償ヲ取ルヨリ外ハ
 ナシ

日本ハ水田多シ必ラス此ノ如キトハアルヘシ
 一方ニテ水ノ入用ナル時一方ニテノミ我カ
 田ヘ水ヲ引ク等ノトハ償ヲ取ルヨリ外ハナ

シ

問 此償ハ刑ニ入ル可キヤ

答 刑事ニハ入ラス日本ニテ刑事ニ入ルナラ

ハ之ヲ惡シト云ハス然レモ其事ノ一般ニ
 及フヘキ害ナル時ハ刑ニ入ルヘシ併シ佛ニ
 テハ右等ヨリ一般ノ害トナルトハナシ

問 水ヲ我カ田ヘ引クニ水ヲ我レノミ澤山ニ

取ラント云フ心中ニ造意アル時ハ刑事ニ入
 ルヤ

答 人民相互ヒノトニ付テハ刑事ニ入ラスト

雖モ償額ノ高甚タ少ク凡公ケノ事ニ管スル
 片ハ刑事ニ入ル其例ヲ説カン
 例ハ太政官ノ法令又ハ地方官ノ法令ヲ以テ
 水ヲ多ク取ル^トヲ得ス又ハ樹ヲ伐ル^トヲ得
 ス此場合ニ於テ之ヲ犯セハ即チ刑事ニ入ル
 問 償ノ取リ方ハ如何スルヤ
 答 償ノ取リ方ハ損害ノ條ニ多クアリ
 人民互ヒ^トハ私法ナリ之ハ刑事ニ入ラヌ官
 ノ法ナレハ之ヲ犯スモノハ刑ニ入ル
 此條ニ説ク所ハ人民相互ノ事ニ付テ説クナリ

既ニ千百四十三條並ニ千百四十四條ノ餘意マ
 テヲ説キタルナリ
 此款ノ大意并ニ取リ除ク^トノミヲ説キタリ
 償ノ取リ方ハ後ニ其所ニテ説ク可シ
 口^トマニテハ能ク出来テアルナリ^トナレ^トイ^ト
 ハ只々與フル^トナリ^トダレ^トハ償ヲ要スル^ト
 ナリ佛ニテハ其二ツノ内一ツノ^トドナレ^トノ
 ミ存セリ
 問 家ヲ建ツ可カラサルノ契約ニ反レ之ヲ建
 タル時ハ之ヲ毀ツテ濟ムト雖モ其建チテア

ル間日ノ蔭ヲナスカ又ハ風ノ入ラヌ等ノ一
ハ償ヲ要ス可キヤ

答 后来ノ為ニハ建チタル家屋等ヲ毀テ又償
等ヲ以テ濟ム可シト雖モ其過キ去リタル時
間ノ事ハ第千百四十三條ノ且ツ別段云々即
チ是レナリ

第千百四十五條ハ此所ニアル可キモノニアラ
ス先ツ第四款ヲ説カントス

第四款 義務ヲ行ハサルヨリ生スル損
失ノ償

第千百四十七條 義務ヲ行フ可キ者縱令ヒ不

正ノ意アルニ非スト雖モ義務ヲ行ハサル時
ハ其義務ヲ行ハザルニ付テノ償ヲ為シ又ハ
其義務ヲ行フテ遅延シタルニ付テノ償ヲ
為ス可キ言渡ヲ受ク可シ但シ意外ノ事故ア
リテ其義務ヲ行フテ能ハサリレノ證ヲ立ル
時ハ格別ナリトス

前款ハ全ク義務ヲ行ハサル時ノ一ヲ云フ
此款ハ義務ヲ行ヒタリト雖モ期限ヲ過キ去リ
タル一ヲ記シタルモノナリ

義務ヲ全ク行ハサル時又ハ期限ヲ過キタル時
又ハ天災ニヨリテ行フ能ハサル時ノ一ヲ説
カントス

物ヲ引渡ス可キ義務ニ於テモ天災ニヨリテ行

フ一能ハサル時ハ其義務ハ解釋スルナリ

或ル事ヲ為ス可キ為ス可カラサルノ義務ニ於

テモ亦全ク同シ

併シ天災アリトモ天災ト云ヒタルノミニテハ

濟マス其證據ヲ立テサル可カラス

○千百四十七條ノ末ニ事故アリテ云々トアリ

千三百二條ニモ其事ヲ云ヒタリ之レヲ参照ス
可シ

千百四十七條千百四十八條ノ二條ニ於テハ面
倒ナルトハナシト思フナリ

千百四十三條ノ末又千百四十七條ノ文中償ヲ
出ス可キ事アルトキハトアリ故ニ其場合ニ

於テハ出サ、ルトモアル可シ

此外ニ尚ホニツノ事アル可シ

因テ遅延シタルノミニテハ償ヲ為スニ及ハス

ニタ事揃ハサレハ損害ノ償ヲ為スニ及ハスト

ス
 例ハハ正月マテニ物ヲ作ルノ契約アリ正月ニ
 至リテ之ヲ作ラヌ又ハ天災アリトモ申立テ
 ス、是レニツナリ
 此ニツノミニテ直チニ償ヲ為スカトナレハ更
 ニニツノコトアリ之ヲ添ヘサル可カラス
 第一ノ事ハ既ニ説キタル催促狀ヲ送達シテ怠
 リヲ生セサル可カラス
 例ハハ期限ノ延引スル時ハ催促書ヲ送ラサル
 可カラス其催促書ヲ送ラサル間ニ物ノ損失

スル如キハ償ヲ出スニ及ハストス
 何月何日ニ物ヲ作ル可キモノヲ作ラサルトモ
 之ヲ延引セリト為ス可カラス之ニ反シタル
 場合ニ於テハ其定マリタル時間ニ作ラサレ
 ハ延引セリト為ス
 例ハハ祭日又ハ旅行等ノ時ハ催促書ヲ送ラス
 トモ其日ヲ過クレハ期限ヲ過クレタリト為
 ス
 夏日冬服ヲ作ル可シト云フ時ハ一冬中ニテヨ
 ロシ仍テ催促書ヲ送ラサル可カラス

禮服ノ如キハ之ヲ用ユル或日ヲ過クレハ期限
 ヲ過クシタリトス
 千百四十六條ハ既ニ説キタルモノ、一ツナリ
 第二ノ一ハ義務ヲ行フヲ延引レ又ハ全ク行
 ハス又ハ催促書ヲ送リタルノミニテハ義務
 アルモノヨリ償ヲ出スニ及ハス
 全ク損害ヲ受タル時ハ償ヲ出ス可キナリ
 例ハ冬服ヲ作ルヲ受負ヒ又ハ家ヲ修覆ス
 ルヲ受負ヒタル時病氣ニテ服ヲ著スルヲ
 能ハス又旅行シテ家ニ在ラサル時ハ損害ヲ

受タルノ理ナシ真ニ損害ヲ受ケサレハ償ヲ
 取ルヲ得ス
 即チ千百四十八條ノ場合之レナリ
 第千百四十九條 義務ヲ行フ可キ者ヨリ義務
 ヲ得可キ者ニ為ス可キ償ハ其義務ヲ得可キ
 者ノ受ケタル損失ト失フタル利益トヲ併合
 シテ算計ス可シ但シ其償ノ事ニ付テハ後ノ
 數條ニ記スル所ニ循フ可シ
 損失ノ償ト云フハ佛ニテト^{損害}マ^害チ^アン^利テ^益
 一ト云フ字ニテ損害ヲ受クルト利益ヲ欠ク

ト兩様ノ意味ナリ

損害ノ償ヲ取ルニハ左ノ四件ノ揃ハサレバ之ヲ出サシムルヲ能ハス

第一 契約ヲ遂ケサルトキ

第二 其遂ケサルハ天災ナリトノ證ヲ立テサ

ルトキ

第三 催促書ヲ送リタルトキ

第四 利益ヲ失ヒ損失ヲ受ケタルトキ

後ノ催促書ヲ送ルト損害ノトハ何事ニモ必ラスアルモノニアラス故ニ此二事アル時ノト

ト云フ意ナリ

之ハ民法高法相通シテ行ハル、モノナリ

利益ヲ得ルトハ能ハサル時ノ一例ヲ舉ケン

例ハ元價百圓ニテ五十ノ服ヲ作りテ賣ラン

ト契約シタリ然ルニ其調ハサルニヨリ百

二十圓ニ賣ル可キモ僅カニ八十圓ニ賣リ

リ其二十圓ノ利益ヲ失ヒ二十圓ノ損失トナ

ル合セテ四十圓トナルナリ

又民事ニ於テ家ヲ賣ルニ修葺シテ賣レハ高價

トナル可キニ大工ニテ之ヲ作ラス仍テ高ク

ク賣ルコトヲ得サル額ト賤クナリタル額トス
 合併シテ計算スル等はレナリ
 第一千百四十五條 又事ヲ為ス可カラサルノ義
 務アル時ハ其義務ヲ行フ可キ者其義務ニ背
 キタル事ニ因リ義務ヲ得可キ者ニ損失ノ償
 ヲ為ス可シ
 為ス可カラサルノ義務ニ付キ為ス可カラサル
 ノコトヲ為シタルモノ云々
 此文ニ付テハ契約ニ背キタルノミヲ以テ償ヲ
 取ルト見ユレモ否ラス

例ハ他出中ニ隣家ニ樹ヲ植ルニ他出中ナレ
 ハ何程ノ償ヲ取ル可キヤ知ル可カラス且ツ
 他出中ナレハ其損害ハ受クルノ理ナシ此時
 ハ其歸リタル後其樹ヲ移セハ可ナリトス
 此條ハ千百四十六條ノ次ニ置ク方ヨロシ
 為ス可カラサルノ義務ヲ遂ケサルモノハ催促
 狀ヲ送ラストモ其損失ヲ受ケタリト云フコ
 ノ言ハルコトヲ説キタルモノナリ
 第三款ニアルヘキニアラス第四款ニアル可キ
 モノナリ

民法ヲ讀ム者千百四十六條ヲ讀ミタル後ニ此

條ヲ讀メハ聊カ疑惑アルトナシ

今、如ク條ヲ置キ換ヘタルニ付キ解シ難キト

アリヤ

元ヨリ千百四十五條トテモ通常ノトナラハ催

促狀ヲ送ラサルヲ得スト雖モ之ハ樹ナレハ

樹ヲ植ヘタリト云フトノミヲ云フナリ併シ

真ニ損害ヲ受ケサル時ハ其償ヲ取ルトヲ得

ス

問 催促書ハ何月何日ト契約書中ニ定メタル

時ハ之ヲ送ルニ及ハサルヤ

答 第千百三十九條ニアリ之ヲ見ル可シ

縱令、何月何日ト契約書中ニ書キタリトモ催

促書ヲ送ラサル時ハ怠リニハナラス萬一其

契約書ニ其期限ニ至リテ催促書ヲ送ラスト

モト記載スル時ハ格別ナリ

催促書ヲ送ルノ道理ハ一躰怠リテ經過シ易キ

ハ人情ナリ故ニ一應催促書ヲ送ルハ人情ヨ

リ出ツルモノナリ

之ハ性法ヨリ出ツ

ホアソナーード案スルニ法ノ出ツル所ハ即チ性
 法ナリ性ヨリ出デサレハ法トナスニ足ラス
 人情ハ怠リヤスキモノナル故催促書ヲ送り
 テ意ヲ注ケシムルハ人情ノ美ナルヲナリ人
 ノ怠リタルヲ幸トスルヲハアル可カラス又
 權利アルモノモ催促書ヲ送ルハ格別難澁ナ
 ルトニアラス
 ロノ法ハ期限ヲ過クレハ直チニ怠リトナ
 シタリ之レ酷ニ過ク近時ハ追々改正シ即チ目
 下佛朗西ノ法律ハ緩ナルモノナリ

千百四十五條ノ例ヲ舉ケン

ホアソナーードノ隣家ニ屠家アリ其屠家ニ契約
 ヲ為レテ云ク鄰家ニ屠ヲ業トナスハ其聲ヲ
 聞クニ忍ヒス且ツ臭氣アリ遠ク去ルヘシト
 其後我レ北京ニ行キタリ然ルニ其在ラサル
 間ニ契約ニ背キ遠ク去ラス依然トシテ屠ヲ
 業ト為シタリト其時ホアソナーード其償ヲ取
 リテ可ナルヤ此ノ如キ訴アル時ハ之ニ償ヲ
 出サシメサルヘシ必ラス其償ヲ出スニ及ハ
 サルノ道理ナリ其故ハ少シモ其損害ヲ受ケ

サレハナリ

之ニ反シテ其空宅ヲ貸シ又ハ賣ルヲ人ニ托シタリ人アリ来リテ曰ク之レ屠家ノ隣ナリト之ヲ借ラス又買ハス此時ハ必ラス損害ノ償ヲ取ル可キナリ

其時屠家曰ク君假令此ノ如ク云フトモ催促書ナカリント其時ノ處置ハ此千百四十五條ニアリ

假令我レ家ニ在ラサルノ間ニ此事起ルト雖モ屠家ニテハ契約ニ背キ日々其業ヲナシタル

ニ付キ償ヲ出サシムルナリ

問 其他出中宅ニ家族ノ住居シアル時ハ如何

答 家族アレハ其償ヲ取ルナリ

問 僕ハ如何

答 僕ハ格別ナルモノニテ契約ニハ入ラス

此ノ如ク條ヲ立テ、説クトモ之ヲ見認ムルハ

裁判官ナリ

問 萬一他出ノ間ノ僕其臭氣ニ感シ流行病ヲ

得タル時ハ如何

答 元來契約ハ一家族ニ係ルモノニテ僕ニハ

係ラス併シ雇フ間ハ雇主其保護ヲ加ヘサル
可カラス故ニ怪我ヲ為ス時ハ償ヲ取ル病モ
損害ニ係レハ其償ヲ取ル可キナリ

其汚物ヨリ生スル蟲アリテ人ヲ食ヘハ死スル

トアリ此ノ如キハ損害ノ償ヲ取ル可キナリ

問 契約日限中ニ其約束ノ品出来シタリトモ

契約ヨリモ粗ニ作ルモノハ此中ニハ入ラサ

ルヤ

答 元ヨリ契約ノ如クセサルモノハ同シキト

ナリ第千百五十條ヨリ右等ノトヲ生ス

損害ノ表トテハナシ裁判官ニテハ人民ヨリ書

キ出シタル額ヲ見テ之ヲ定ムルナリ

第千百五十條 義務ヲ行フ可キ者詐偽ニ因リ

其義務ニ背キタル時ノ外ハ嘗テ契約ヲ結ビ

シ時既ニ預知シタル損害ノ償及ヒ預知スル

トヲ得可キ損害ノ償ノミヲ為ス可シ

第千百四十九條ニ於テ損害ナケレハ償ヲ出サ

スト云フトヲ説キタリ本條ハ償ヲ出スノ原

則ナリ

佛ニテハドマーシアンテレ「ト云ヒテ損害ヲ

為スト利益ヲ欠クトノ二件ニヨリ損害ノ償
ヲ出ストト定メタリ

義務ヲ行ヒ遂ケス又義務ヲ行ヒタリトモ延引
スルヲニ付キ三件アリトス

第一 天災ニヨリテ義務ヲ遂ケサル事

第二 怠リニヨリテ義務ヲ遂ケサル事

第三 不正ノ心即チ詐偽ヨリ生シテ義務ヲ遂

ケサル事

第一 天災ニヨリテ義務ヲ遂ケサルトキハ聊
カノ償ヲモ出スニ及ハス

此事ハ既ニ千百四十八條ニ於テ説キタリ

第二 怠リノ場合ハ第千百五十條ニ於テ説キ

タリ

第三 不正ノ心ヨリ生スル場合ハ千百五十一

條ニ於テ説キタリ

第二第三ノ分ハ未タ講説セス

第二 怠リニヨリテ損害ノ生シタルモノハ其

損害盡ク償フニ及ハス其契約ニヨリテ相當

ノ償ヲ出スモノニシテ稍々寛大ナルモノト

ス

千百五十條ノ中ニ契約ヲ結ビシ時云カトアリ
 例ヘハ家ヲ建ツルニ付キ大工ニ五月マテニ
 受負ハシム之ハ絲ヲ繰ル器械ヲ置ク所ナリ
 然ルニ其托スルトキ其絲繰器械ヲ置クヲ
 云ハス其後其大工ハ五月マテニ出来セサル
 ニヨリテ其器械ヲ置クヲ能ハス既ニ五月モ
 過キテ大ニ損失トナリタリ
 然ルニ其托スルトキニ絲繰器械ヲ置クヲ云
 ハサリシユエ其絲繰器械ヨリ生スル利益ノ
 損失ヲ盡ク償ハシムルヲ能ハス

依テ其時ハ其家ヲ人ニ貸スカ又ハ自カラ住居
 スルカト見テ夫レ夫クノ利益ト損失トノ償
 ヲ取ル
 若レ其托スルトキ絲繰器械ヲ置クヲ云ヒタ
 ルナラハ其絲ヲ繰ルノ利益ト損失トヲ見テ
 夫レ夫クノ償ヲ取ルヲ得ヘシ
 例ヘハ官ノ建家ヲ一人ノ棟梁ニテ引受タルニ
 其契約期限ヲ過キタルトキハ幾日毎ニ何許
 ヲ出ス可キ契約ヲ為シタリ然ルニ其棟梁ニ
 テハ下タ受ケ人ヘハ其官ノ建物タルヲモ損

害ノ償ヲ出ス可キ約束ヲナシタルヲモ云ハサリシナリ

其時其期限ヲ過キテ償金ヲ出ストモ棟梁ノミ出ス可クシテ下メ受人ハ一切之ヲ出スニ及ハストス

例ヘハ司法省中ニ獄ヲ建ツルニ一人ノ棟梁ニテ引受ケ其大工左官トモヘ云ヒ付ケタリ然ルニ棟梁ニテ期限ヲ過キタルトキハ司法省ヘ償金千圓ヲ出スヘキ約束ヲ為シタリ然ルニ其建築ハ一月ノ禮式等ニテ期限ヲ過クシ

タリ其時ハ棟梁ニテハ千圓ヲ出ストテ豫カシメ大工左官トモヘ云ハサリシユエ全數ヲ取ルヲ能ハス聊カ期限ノ後レタル式ケノ償ヲ取ル可クシテ其他ハ棟梁ヨリ出ス可シトス

問 第一千百五十條ニ豫知シタル云々ハ義務ヲ履行ノ可キモノヲ云フ可キヤ

答 然リ之ハ其契約書ニ書クニ及ハス互ヒノ口陳ニテ足レリトス

預知スルヲ得ヘキ云々ハ見込マレルト云フ

トナリ
 知ルヲ得可カラサルノ償ハ出スニ及ハス
 トス
 例ヘハボアソナードニテ駿河臺ヘ家ヲ建ツル
 一ヲ一月ヨリ六月マテニ出来スルヲ約シ
 タリ然ルニ其時六月ニハ現ニ住スル家ヲ立
 チ除カサルヲ得サルヲ云ハサリシナリ大
 エハ其期限ヲ過シテ八月トナリタリボアソ
 ナードハ我駿河臺ノ家ヘ移ルヲ能ハス他ノ
 家ヲ借リタリ依テ七月一ヶ月ノ家賃ハ損害

トナリタレドモ其償ヲ取ルヲ得ス若シ之
 ニ反シテ六月ニハ現ニ住スル家ヲ立テ除カ
 サルヲ得ナルヲ始メニ云ヒタルトキハ其
 七月一ヶ月ノ家賃並ニ其轉宅ノ入費ノ償ヲ
 モ取ルヲ得可シ
 元來契約ヲ爲ストキハ其契約ノ旨意ヲ云ハサ
 ル可カラズ否ラサレハ其義務アルモノニテ
 大イニ困難スルノミナラス權利アルモノモ
 亦々困難ヲ免レス
 問 右等契約ノ旨意ヲ始メニ云ヒ又云ハスト

云フ一ハ契約書ニ書記セサル時ハ惣テ代人ノ口頭ヲ以テ裁判スルヲナリヤ

答 其證據ハ求ムル方ヨリ出サ、ル可カラス

例ハ六月ニハ移住スル一云々等聊カノ書

キ付ケアレハ尚ヨロシ若シ其書キ付ナキ片

ハ人ヲ以テ證ヲ立ツ可シ以上ノ證ナキトキ

ハ權利アルモノ、負ケトナルナリ

證據ノ立テ方ハ後ニ詳カナリ委シクハ説カス

併レ證據ハ權利アルモノ即チ求ル者ヨリ立

テサル可カラス

契約ヲ為スニ秘密ニ為レ置ク一アリ例ハ器

械ヲ立ツル等ニ於テ密ニセサレハ人ニ競ハ

レテ損害トナル一アリ併シ何月マテニ立テ

サレハ亦損トナル其時ハ其器械ノ一ヲ云ハ

ス契約書中ニ之ヲ遂ケサル片ハ何圓金ヲ出

スヘシト書クヘキナリ

之ヲ罰金ペナルティヲ出ス一ヲ承諾シタル契約ト云フ

第千百五十二條 若シ義務ニ背ク一アルニ於

テハ其者ヨリ一方ノ者ニ定マリシ金額ヲ其

償トシテ拂フ可キ事ヲ契約ヲ以テ預定シタ

ル時ハ其義務ニ背キタル者其預定シタル金額ヨリ更ニ多量ノ償ヲ為スニ及ハス又更ニ少量ノ償ヲ為スヲ得ス

契約ヲ為ストキ其償金ノ額ヲ定ムルハ甚タ便利ナルヲナリ

第千百五十條、如クニテハ訴訟人モ裁判官モ甚タ困難スルナリ

併シ此條ノ如ク其額ヲ初メニ定メタルトキハ甚タ便利ナリトス

佛ニテハ家ヲ建ツル時ハ必ラス預メ其損害ノ

額ヲ定ムルナリ故ニ大工モ晝夜ヲ分カタス工作ヲ為スヲアリ

第千百五十一條 義務ヲ行フ可キ者詐偽ニ因リ其義務ニ背キタル時ト雖モ其義務ヲ得可キ者ノ受ケタル損失ト失フタル利益トノタメ為ス可キ償ヲ算計スルニハ其契約ニ背キタルニ因リ直チニ生スル所ノミニ限ル可シ

詐偽ヨリ出ツル損害ノ償ノヲヲ説カントス此章ノ書キ方ヨロシカラス故ニ了解シ難シ

千百五十條アルユエ千百五十一條ヲ解スル

ヲ得可シ若シ千百五十條ナキトキハ解シ難シ

前條ニ預知スル又預知ハ得可キ云々ヲ舉ケタリ本條ニ於テハ預知セサル所ノ償ヲモ出サシムルヲハ前條アルユエニ稍ク解スルヲ得可シ

例ハハ家ヲ建テ器械ヲ置カントスルニ大工ニテハ詐偽ノ心ヲ以テ之ヲ期限中ニ立テサルナリ其時ハ縱令ヒ始メニ絲繰器械ノヲ云ハストモ其絲繰ノ利益ヲ損害トシテ其償ヲ

取ルヲ得可シ

貸家又ハ我カ住居スル家屋ニシテモ亦々同シ轉宅入費等ヲモ取ルヲ得ルナリ併シ假令ヒ詐偽ノ心ヲ以テ遂ケサルトモ亦少シク寛大ニスルモノアリ此條中ニ云フ直チニ生スル損害ノミヲ償ハレメテ直チニアラサル損害ノ償ハ取ルヲ得サルナリ

其絲繰ノヲニ付テ例ヲ舉ケン
大工ニテ義務ヲ遂ケサルニ付キ他ノモノニテ絲繰器械ヲ立テタルニ付キ大イニ損失トナ

リタリ其時ハ其損失ハ何月何日迄ノ間ト定
 メテ其償ヲ取ルトヲ得ヘク後來綿々ト生ス
 ル損害ノ償ヲ取ルトヲ得ス是レ直チニ生ス
 ル所云々ト云フモノナリ
 何ケ月後レテ其時間丈ケノ償ヲ取ルニ足ル時
 ハ夫レ迄ナリ萬一絲ノ時ヲ過キ一ケ年ノ損
 トナルトキハ其償ヲモ取ル可キナリ
 問 直チニアラサル損害トハ如何
 例ヘハ甲ノ家ヨリ乙ヘ移ルニ乙ノ家期限ヲ過
 シシタルニ付キ移ルトヲ得ス仍テ丙ノ家ヲ

借リテ移リタリ此轉宅入費並ニ其家賃ハ直
 チニ生スルモノナリ其借宅中ニ火災アリテ
 荷物ヲ燒キタリ之ハ直チニアラサル損害ナ
 リ
 裁判官ハ此直ト直ニアラサル償ヲ區別スルト
 甚ク難シトス
 古ノ碩學者ノ説アリ今時ノ學者ハ其人ノ説
 ヲ遵奉スルモノナリ
 佛ニ於テハ圃ヲ耕スニ馬ヲ用ニ小作人アリ其
 耕ス為メニ十頭ノ馬ヲ買フニ其時季ニ至リ

テ馬ヲ賣ルモノ其馬ヲ納メス依テ時季ヲ失
 ヒタルニ付キ税ヲ納メス然ルニ其地主ニテ
 其小作人ヲ逐ヒタリ
 其時其馬ヲ賣ルトヲ怠リタルモノハ何程ノ償
 ヲ出スヘキヤト云フトキハ一年ノ收納丈
 ケヲ出スヘシ小作人ノ圃ヲ取り上ケラレタ
 ル損害ノ償ヲ出スニ及ハス
 法律ニ制限ナカル可カラズ制限ナケレハ甚タ
 困難ナルトアリ
 例ハ大工ニテ期限ヲ過シ移住スルトヲ得サ

ルニ付キ貸家ヲ搜カス問ニ家根コリ石落チ
 テ頭ヲ傷ケタリ其時大工ニ向ヒ汝カ家ヲ建
 ツルトヲ怠リタルニ付キ我カ頭ヲ傷ケタリ
 其償ヲ出ス可シトハ云フトヲ得サルナリ
 問 例ハハバンクヨリ金ヲ受取ル約束ヲ爲シ
 タリ其時日ハ三月三日ト為ス依テ馬車店へ
 三月三日ニバンクへ行ク為ヌ馬車ヲ出スヘ
 シト契約ヲ為シタリ其馬車ハ三月三日ニ來
 ラスシテ翌四日ニ來リタリ然ルニバンクハ
 今日分散トナリテ約束ノ金ヲ受取ルトヲ得

サリシナリ此時ハ其金ノ全額ヲ馬車店ヨリ償トシテ取ルヲ得可キヤ

答 其時馬車店ハ其金ヲ受取ルヲ知ラサルトキハ償ヲ出スニ及ハス若シ不正ノ心ヨリ為シタル時ハ馬車店ニテ其償ヲ出ス可シ元ヨリ馬車店ニテ其多數ノ金ヲ出シ得ヘキヤ否ヤハ料ル可カラスト雖モ法律ノ理ハ固ヨリ此ノ如クナル可キナリ日本ノ人力車等ハ多少ノ財産ヲ所持セサル可シ

併シ佛ノ馬車店ハ馬十萬頭ヲ所持スルモノアリ是等ハ訴ヘテ償ヲ取ルヲ得可キナリホアソナード「平常考フルヲアリ直チノ償ハ取リ直チニアラサル償ハ取ルヲ得ストアリ然ルニ最初契約ヲ爲ストキニ直ニアラサルヲマテモ知ラシメタル時ハ如何例ハハ十頭ノ馬ナキトキハ耕作ヲ為スヲ得ス收税モ花利ヲ收ルヲモ出来サルニヨリ其圃ヲ取リ上ケラレルニ至ルト云フヲ最初ニ云ヒタラハ其圃ノ取リ上ケラレタルトキ

ハ其償ヲ馬商ヨリ出サシムルヲ得ルト思
 フナリ
 之ハ萬々疑ハサル所ナリ何トナレハ第一千百五
 十條ニ預知云々トアルヲ以テナリ
 契約編ハ世界萬國ニ於テ欠クヘカラサルモノ
 ナリ日本ニテ善ク注意シテ立ツルニ於テハ
 萬國ニ對シ美ナルヲナリ
 今日說キタル第一千百五十二條マテハ三ツノ義
 務ニ於テ金ノ一ニハ及ハサリシナリ
 此事ハ商法ニハ說テナキ所ナリ依テ商法上引

渡等ノ契約ニ付キテハ惣テ之ニ依リテ裁判
 スルナリ
 契約ヲ為スニ別段ノ法律ナキトキハ一般民法
 ノ契約編ニ依ラサル可カラス
 會社ノ一ハ民法トハ異ナルモノニテ其規則商
 法ニアリ
 是等ハ民法ニ依ラス商法ニ依ル可シ
 商法ニハ種々民法ト異ナルヲアリト雖モ契約
 ニ於テハ此法律ニ依ラサル可カラサルナリ
 以下ハ金ノ一ヲ說カントス

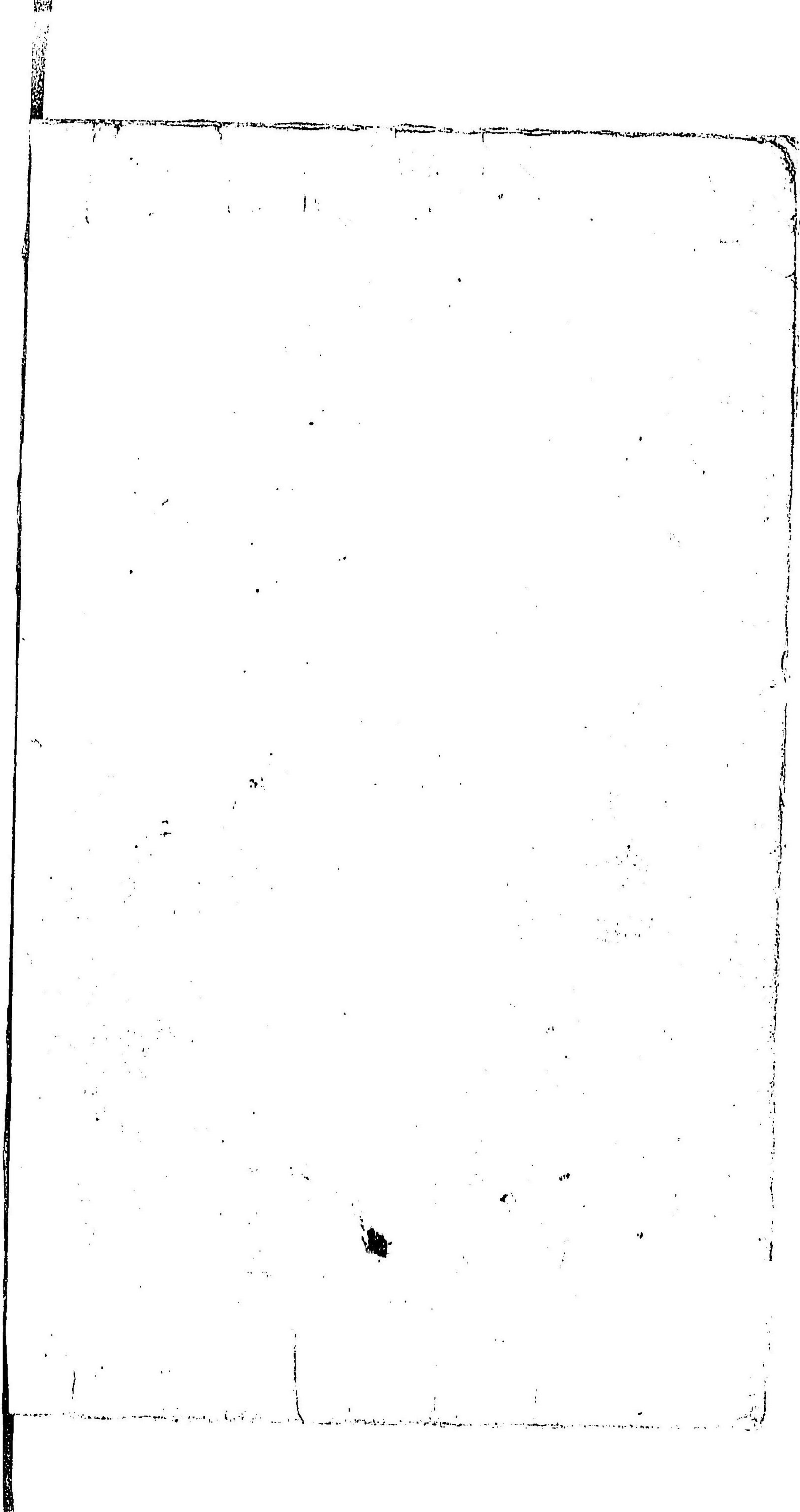
佛國民法契約編講義第四卷終

卷四三三

明治九年九月刊行

版權ヲ有ス

司法省



佛國民法契約篇講義

四

特39

75

三本

東 京 圖 書 館	
新 門 一 四 函	
部 一 一	二 架
類	四 九 九 號